

東北工事事務所の取り組み

東北工事事務所では、気仙沼線・大船渡線BRTの運行開始にあたり、既存設備を再利用するなど、各種建設資材等を削減して、廃棄物削減や省資源化に成功しました。

具体的には、既存軌道バラストの専用道路盤材料への活用を行い、建設資材を削減したり、被災レールを土留壁へ再利用し、鋼材を節減しました。また、鉄道橋りょうについては道路橋を新設するのではなく、再利用することにより、コストや資源の削減を実現しました。さらには、トンネル内に白色板を取り付けることで、新設する照明数を節減し、エネルギー削減を実現しました。



被災地の軌きょう(レール、バラスト、マクラギ)撤去



BRT専用道路の路床に発生バラスト改良体を転用



BRT専用道路へのアスファルト舗装



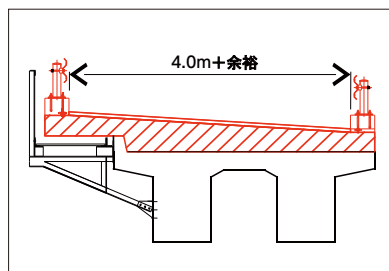
被災レールの土留用杭としての転用
(レールの打込み状況)



道路端部の土留用RC板と被災レール杭



完成したBRT専用道路と走行するバス



道路幅員を確保するため、コンクリート打設
支保工として利用



幅員を広げた鉄道橋りょう上を走行するバス

担当者の声

東北工事事務所は、連続立体交差化、駅改築・改良、電気設備更新・設備強化工事等のプロジェクトを計画、実施しております。このことから、BRT仮復旧のみならず全工事件名の再資源可能な建設リサイクル率100%達成や景観に配慮した構造物のデザインによる景勝地における景観保護をはじめ、工事に伴う騒音・振動の低減策などのエコを取り巻くさまざまな取組みを行っております。

また、身近な取組みについても社員一人ひとりが環境活動の重要性を認識し、業務用自動車の効率的な運用やオフィスにおける省エネなどに取組んでおります。

今後も、本所と工事区が一体となり、リデュース (REDUCE)・リユース (REUSE)・リサイクル (RECYCLE) の3Rを意識し、継続したエコ活動に取組んでいきます。



東北工事事務所
工事管理室
佐藤 豊